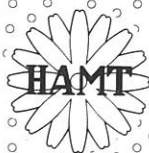


第364号



# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

## 編集委員

小松敏也 / 小原 望 / 藤井美佳 / 橘 匡廣  
井垣 歩 / 矢野美由紀 / 新田篤史 / 鳥居良貴

## 臨床検査情報センター

URL <http://www.hamt.or.jp>

今月の目次

- 《各部局報告》 ..... 1~2
- 化学免疫検査研究班からのトピックス ..... 2~3
- 《会員グルメ情報》・広報部委員の交代・新委員の紹介・《求人情報》 ..... 4~5

※5月行事予定表を休刊します

## 各部局報告

### 組 織

### 第29回東播地区研究発表会開催される (2月22日(土))



佐野 唯会員 (大西脳神経外科病院)

2020年2月22日(土)加古川中央市民病院にて東播地区施設責任者・連絡者会議および第29回東播地区研究発表会が開催されました。新型コロナウイルス感染症が危惧される中ではありましたが、幸いにも兵庫県では感染者が出ていないという事、参加者が不特定多数ではなく検査技師会員で所在が知れているという事を前提に、会場の出入り口には擦式消毒剤が配置し、咳エチケットが守られた状態での開催となりました。

研究発表会の学術講演ではTOPICSである「ALP・LD測定 of IFCC対応について」試薬メーカーと医療機関双方の講演がありました。基礎から臨床での具体的な運用について話を聞くことが出来、自施設での運用・医師への周知方法、開始時期等の決定に非常に為になりました。

教育講演では、ランチ導入を避ける為に上司に一冊の本「トヨタ大全」を渡された事から始まる業務改善の発表でした。業務内容・人員配置・在庫等あらゆる無駄をカットする事で得られた時間を臨床検査技師が他職種と関わり新しい分野を開拓・検査室を飛び出していくという取り組みをされておられ、その結果、医師の働き方改革に向けたタスクシフティング(シェアリング)に繋がった!という大変興味深い話を聞くことが出来ました。

一般演題では5施設の先生方が日々の業務で出会った珍しい症例発表や溶血によるインピーダンス法の血





小板数偽高値についての検討、さらに若手技師育成の為の取り組みの発表等多岐にわたっており、最後まで楽しく聴講することが出来ました。

森下 絵梨会員（明石医療センター）

この度初めて東播地区研究発表会に参加させていただきました。どの演題も興味深く、大変勉強になりました。特に印象深かったのは『タスクシフティングと当院の現状』の演題でした。

タスクシフティングに関わらず、臨床検査技師に求められる業務は日々増えています。その中で標準化が可能な業務に関しては、標準化することで業務量を減らすことができます。そこでできた人員で、人にしかできない業務ができることのご講演でした。

当院でも標準化が可能な業務を一度見直し、検査の原理を考慮した結果の解釈や、検査側から見た、必要な追加検査の助言など、多職種との連携を図り、検査室の強みを活かした業務に移行していかなければならないと感じました。



## 化学免疫検査研究班からのトピックス ～ALP・LDの測定方法の変更について～

渡邊 勇氣会員（化学・免疫検査研究班班長：神戸大学医学部附属病院）

日本臨床化学会 (JSCC) は、血清アルカリホスファターゼ (ALP) および、血清乳酸デヒドロゲナーゼ (LD) の常用基準法を国際臨床化学連合 (IFCC) の基準測定法と同一の測定法へ変更することを決定しました。

現在、ALPおよびLDの測定はJSCC標準化対応法が広く普及していますが、IFCC標準化対応法と比較すると、アイソザイムへの反応性が異なることが知られています。そのため日本での測定値は国際的なガイドラインを利用する場合や治験データとしての利用に支障をきたしています。そこで測定方法をIFCC標準化対応法に変更することで、疾患と無関係な測定値の上昇を軽減し、測定値を海外と共有化できるため、国際的な治験や治療への参画時の利便性が向上します。

JSCC法とIFCC法の2つの方法が国内で混在すると、データの解釈に混乱が生じるため、できるだけ短期間での変更が望ましいとされており、臨床化学会は2020年4月1日からの1年間で達成を目指しています。測定方法に関する概要を下記にまとめましたので、ご参照ください。化学免疫検査研究班より、情報発信等も行っていきますので、円滑な試薬の切り替えにご協力ください。

## &lt;変更に関する注意点&gt;

- ・ ALPでは、測定値が現行の1/3程度となり、小腸型アイソザイムや胎盤型アイソザイムの反応性が異なるため、変更前後の換算には限界があります(図1参照)。
- ・ LD5優位の検体では、現行よりも低値を示します(図2参照)。

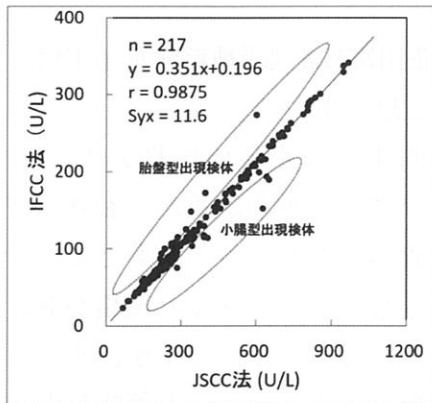


図1. ALPの相関図

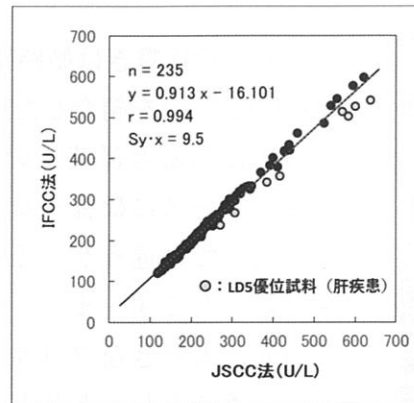


図2. LDの相関図

## &lt;JSCC法とIFCC法のちがい&gt;

	ALP		LD	
	JSCC法	IFCC法	JSCC法	IFCC法
緩衝液	EAE	AMP	DEA	MEG
基準範囲 (U/L)	106 - 322	38 - 113	変更なし (124 - 222)	
換算式	y = 0.35 x		なし	
x : JSCC法、y : IFCC法	x = 2.84 y			

## &lt;主な領域および疾患での変更後の値について&gt;

## ALP

1. 健康診断 血液型B、O型の一部で頻発する疾患と関連のない上昇が解消され、肝および骨疾患の臨床的意義が向上します。
2. 肝疾患 小腸型ALPを低く抑えるため、肝疾患への特異性が増し、生理的変動も小さくなります。
3. 骨疾患 乳児期および小児期の低ホスファターゼ症の診断に欠かせませんが、測定法が海外と共通となるため、治療ガイドラインの有用性が向上します。がんの骨転移や慢性腎疾患などの骨代謝異常の指標の1つとして利用価値が向上します。
4. 妊婦 従来のJSCC法と比較して胎盤型ALPの反応性が高くなります。妊娠週数が増すと胎盤型ALPが増加し、肝型との比率も変化し、図1のように回帰直線の上方に乖離します。

## LD

LD5が少ない場合は、測定値にちがいはほぼありませんが、LD5が増加するに従い、IFCC法で低値傾向となります。

1. 心疾患 心筋に含まれるLD1およびLD2が優位であり、変更後はやや高値傾向になります。
2. 血液疾患 白血病では、LD2およびLD3が優位とされています。そのため変更後の測定値の変動は許容誤差範囲です。
3. 肝疾患 LD5が優位となるため、変更後は10-20%低値傾向になります。

## &lt;参照&gt;

日本臨床化学会HP (<http://jscc-jp.gr.jp/>) で変更に関する案内が掲載されています。



# 会員グルメ情報

## 数珠つなぎ [39]

森川 貴道会員（兵庫県臨床検査研究所）



今回の数珠繋ぎは姫路市花田町にある「神戸洋菓子工房 BIRTHDAY」を紹介したいと思います。

お店に入ると洋菓子の美味しそうな匂いに惹かれます。ショーケースには様々なケーキやタルトが並んでおり、何度も通っては違うケーキを食べましたが、どれもとても美味しかったです。また、焼き菓子もたくさんの種類が並んでおり、大好きなフロランタンを食べたのですが、ナッツのいい香りとしっとりとした甘い生地がとても美味しかったです。

店内にはカフェコーナーもあり、購入したケーキをすぐに食べることができます。今回の取材に伺った際、カフェコーナーを利用させて頂きましたが、平日の日中にも関わらず、店内は常にお客さんが来ており、お店の人气が伺えました。



今回は、「ISIGAKI」というチョコレートケーキと「雪いちご」という苺のケーキを戴きました。チョコレートケーキは「BIRTHDAY」さんの一番人気のケーキで様々なチョコやクリームなどを12層重ねて作られたケーキです。一口毎に違った味が広がり、最後の一口まで楽しめます。初めて食べた時に虜になり、毎回のように食べています。「雪いちご」は苺の果実が入ったヨーグルト純生クリームを使ったタルト様のケーキです。苺の甘酸っぱさと生クリームの甘さが合わさってとても美味しかったです。他にも今まで食べてきたケーキをもっと紹介したいのですが、是非お店に行ってみて実際に食べてみてください。社内で一番の甘党と言われていた僕が味を保証します！近くに来られた際や、美味しいケーキを食べたいという方は是非「BIRTHDAY」さんに足を運んでみて下さい。



住 所：〒671-0255 姫路市花田町小川830-1

T E L：079-252-8401

定休日：月曜日（月曜祝日の場合は火曜）

営業時間：11：00～20：00

## 広報部委員の交代

小原 望会員 (神鋼記念病院)

当院の先輩方から代々受け継がれてきた広報委員を先輩からバトンタッチされたのが4年前のことです。私は就職して2年目で、まだ兵庫県臨床検査技師会について詳しく知らず迷惑をかけてしまうのではと不安になったのを憶えています。しかし、実際に広報会議に参加してみるとみなさん優しい方ばかりで、いつの間にか月に1回の広報会議が楽しみになっていました。広報委員として広報会議の他に、学会や研修会、地域活動などに写真係として参加することもありました。スタッフとして参加することで、学会などの運用の大変さや多くの人の尽力によって学会が成り立っているのだと知ることができ、広報委員にならなければ得ることのできない貴重な経験となりました。また、広報活動を通して他施設の方と交流する機会も増え、最新機器や検査についてなど色んな話を伺うことができました。この知識を今後の検査に活かしていきたいと思えます。



右：小原委員 左：4月号掲載の藤井委員

最後に小松広報部長、鳥居前広報部長はじめ広報委員の皆様、右も左も分からない状態に入った私にたくさんのことを教えていただきありがとうございました。今後も兵庫県臨床検査技師会の活動に積極的に参加していきたいと思えます。

## 新委員の紹介

中村 光希会員 (神鋼記念病院)

この4月より広報委員を引き継ぐことになりました。これまでは、数珠つなぎのコーナーを楽しみに拝見していました。これからは会員の皆様に、様々な情報をお届けできるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●県立加古川医療センター

交 通：JR「加古川」下車 神姫バス16分  
「加古川医療センター」下車

採用条件：会計年度任用職員

業務内容：病理検査

問合せ先：079-497-7000 (総務課)  
(細胞検査士資格の有無は問いません)



トータルソリューションで  
未来を描こう。

検査機器や試薬の製造・販売だけではなく、施設にフィットする環境の構築、充実したカスタマーサポート。さらには予防・未病にも検査領域を拡大。

私たちはいつでも、柔軟かつ自由な角度で、その時々ニーズにマッチする解決策をご提案いたします。

ドクター、検査技師、その先にいるすべての人々、そして無数の可能性をひもく未来へ。シスメックスは、笑顔あふれる毎日をお届けいたします。

製造販売元  
シスメックス株式会社 本社 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目5番1号 〒651-007  
大阪府堺市 03-5434-8565

www.sysmex.co.jp

樹林検査システム (クレスシア)



新しい時代に  
新しい検査システムを

[機能紹介]

- ・電子カルテ連携、分析装置連携、搬送システム連携、採血システム連携
- ・委託検査報告書 (PDFなど)、分析装置画像、顕微鏡画像
- ・セキュリティ認証 (操作ログの取得)
- ・ISO15189 サポート機能

システムに関する詳しい内容についてはお問い合わせください。

TRUST BRAIN 株式会社トラストブレイン (お問合せ 078-360-6298)

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目7-4 ハーバーランドダイヤニッセビル21階 (神戸本社)